

速報 4月号 NO. 426

編集・発行 一般社団法人広島県臨床検査技師会

事務所 FAX 082-502-6031

発行日 令和4(2022)年 4月1日



Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人広島県臨床検査技師会



ホームページ

<http://www.hiroringi.or.jp/>

お知らせ <Information>

- 1 令和4年度中四国支部医学検査学会(第55回) 一般演題募集のお知らせ
- 2 第3回タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会(広島県)開催について
- 3 2022年度 病理細胞部門精度管理報告会 開催案内
- 4 2022年度 第1回 東部地区微生物研修会 開催案内
- 5 2022年度 第1回血液研修会 開催案内
- 6 第71回 日本医学検査学会 in 大阪 開催案内

報告 <Report>

- 1 2021年度 第5回 理事会報告
- 2 第39回 広島県医学検査学会レポート
 - ・ 「優秀演題賞」村上祐人技師コメント
 - ・ アンケート集計結果
 - ・ 一般演題 Q&A

令和4年度中四国支部医学検査学会(第55回)

一般演題募集開始のお知らせ

2022(R4)年度 日本臨床検査技師会
中四国支部医学検査学会(第55回)



会期：令和4年10月22日(土)・23日(日)

会場：広島国際会議場

学会長：米田 登志男(一般社団法人広島県臨床検査技師会 副会長)

1) 一般演題募集について

1. 一般演題の申込、抄録原稿提出は、日臨技ホームページを利用した Web による受付とします。Web による申込には、会員 No、パスワードが必要ですので事前に確認して下さい。下記リンク（学会ホームページ）より受付の手続きをお願いいたします。

第 55 回中四国支部医学検査学会ホームページ (<https://jamt-cs2022-hiroshima.jp/>)

[2022\(R4\)年度 日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会（第 55 回）（jamt-cs2022-hiroshima.jp）](https://jamt-cs2022-hiroshima.jp/)

2) 受付開始及び締め切り日

2022 年 4 月 1 日（金）から 2022 年 5 月 15 日（日）まで

第 3 回タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会（広島県）開催について

本講習会は、新たに業務範囲に追加された行為の 8 項目においては、あらかじめ、厚生労働大臣が指定する研修を受けなければならないとされました。

この研修は、厚生労働省で定められたカリキュラム（内容・時間）に準じ、Web を用いたオンデマンド方式での基礎研修 700 分と各都道府県単位で開催する実技講習 360 分から構成されます。

厚生労働大臣指定講習会については、当該行為の現場での実施の如何に関わらず、国家資格への業務追加であるため、既に資格を有しているすべての臨床検査技師の修了が望まれ、もれなく受講をお願いいたします。

開催日時 令和 4 年 5 月 15 日（日）9:00～17:00

場所 福山市民病院 （〒721-8511 広島県福山市蔵王町 5-23-1）

募集人数 60 名

受講料 15,000 円

参加資格 臨床検査技師免許取得者・Web を用いたオンデマンド方式での基礎研修 700 分修了者

申込開始日 令和 4 年 4 月 10 日（日）～ 定員になり次第終了

●申込方法

1. 指定講習会の受講申し込みは「臨床検査技師タスクシフト/シェアの厚生労働大臣指定講習会の案内」画面から「受講申込方法」の該当者欄を確認し「講習会に参加を申し込む」をクリックして参加申し込みをして下さい。
2. 指定講習会受講申し込みは、全てホームページ上で行いますので、必ず日臨技から届く返信メールを確認し、必要な手続きを行って下さい。
3. 指定講習会当日は、必ず受講票を各自印刷の上、必ず写真を貼付しご持参ください。
4. 指定講習会の講義順序や時間なども変更となる可能性があります。

一般社団法人 広島県臨床検査技師会

実務担当責任者 森田益子

〒730-0013 広島市中区八丁堀 6-10 グレイスビル 801 号

電話番号：082-502-6011 FAX：082-502-6031

2022 年度 病理細胞部門精度管理報告会 開催案内

- 【開催日時】 2022 年 5 月 14 (土) 13 : 00～16 : 00
- 【開催方法】 ZOOM による配信
- 【配信会場】 広島赤十字・原爆病院
- 【生涯教育】 専門-20 点
- 【内容】 演題 1 : 令和 3 年度広島県精度管理報告～病理部門～
講師 東田 美加 技師 興生総合病院
演題 2 : 令和 3 年度広島県精度管理報告～細胞部門～
講師 永崎 裕志 技師 広島赤十字・原爆病院
演題 3 : 令和 3 年度日臨技精度管理報告会～病理部門～
講師 石田 克成 技師 広島大学病院
演題 4 : 認定病理検査技師 認定試験受験報告
講師 藤澤 宏樹 技師 呉医療センター・中国がんセンター
- 【申込方法】 研修会カレンダーより事前参加登録をお願いします。
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_BLiAU-7tSI6Jn8x5o5PucA
- 【申込締め切り】 2022 年 5 月 13 日 (金)
- 【レポート入力期間】 2022 年 5 月 22 日 (日)
- 【問い合わせ】 病理細胞部門

2022 年度 第 1 回東部地区微生物研修会 開催案内

- 【開催日時】 2022 年 6 月 2 日 (木) 18 : 45～20 : 30
- 【開催方法】 Web 研修会 (ZOOM による配信)
- 【生涯教育点数】 : 専門-20 点
- 【内容】 演題 1 : 試験管培地の接種と同定のポイント
講師 湯橋 紀子 先生
(栄研化学株式会社 マーケティング推進室 マーケティング二部一課)
演題 2 : 薬剤感受性検査の基礎
講師 小山 千尋 先生
(栄研化学株式会社 マーケティング推進室 マーケティング二部一課)
- 【申込方法】 研修会カレンダーまたは下記アドレスより事前参加登録をお願いします。
URL : https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_-8E1qiJSQ6Gj3vFvP84lUA
- 【申込期限】 2022 年 6 月 1 日 (水)
- 【レポート提出期限】 2022 年 6 月 9 日 (木)
- 【問い合わせ先】 社会医療法人社団 陽正会 寺岡記念病院 臨床検査室 今村 誠志
Email : s.imamura.nov.26@gmail.com

2022 年度 第 1 回血液研修会 開催案内

【テーマ】2022 年度第 1 回血液研修会 ～初心者・当直者が困らないために～

【日時】2022 年 5 月 28 日（土） 14:00 開始

【内容】演題名

・ CBC 測定のために

木村 充 技師 （中国労災病院）

・ 凝固専用検査測定のために

毎田 昇平 技師 （広島大学病院）

【生涯教育点数】専門 20 点

【申し込み方法】登録先 URL :

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_awJ0cOBpTP2APpHFVTKnig

【申込締め切り】2022 年 5 月 27 日（金）

【レポート提出期限】2022 年 6 月 6 日（月）

【問い合わせ先】臨床血液部門

第 71 回 日本医学検査学会 in 大阪 開催案内



【開催日時】2022 年 5 月 21 日（土）、22 日（日）

【開催方法】ハイブリッド形式

【会場】ATC ホール・ハイアットリージェンシー大阪

【事前参加登録受付期間】銀行口座引き落とし：2022 年 1 月 10 日（月）～2022 年 3 月 11 日（金）

クレジットカード：2022 年 1 月 10 日（月）～2022 年 4 月 8 日（金）

【参加費】日臨技会員：9,000 円（事前参加費）、10,000 円（参加費）

非日臨技会員：20,000 円（当日のみ）

【主催】一般社団法人 日本臨床検査技師会

【学会事務局】公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

2021 年度 第 5 回 理事会報告

【日時】 令和 4 年 3 月 3 日（木） 19:30～21:30

【場所】 ZOOM ミーティングによる WEB 会議

【出席者】 森田会長、米田副会長、有谿副会長、尾田副会長、坂田事務局長、樫山部長、藤井部長、
小川部長、中島部長、小松（浩）部長、
竹野理事、椋理事、吉井理事、大塚理事、栗村理事、小松（忠）理事、和田理事、桑田理事、
宮地理事、柴田理事、梶川理事、永金理事、枡本監事、水野監事（中四国支部長）

【欠席者】 箕岡理事

【書記】 小松（忠）

議 事

<報告事項>

【森田会長】

- 日臨技理事候補者推薦について
広島県より樫山常務理事を日臨技理事候補者推薦し書類を送った。
- 第 39 回広島県医学検査学会について
優秀演題賞に選出された日本鋼管福山病院よりお礼の連絡があった。
- 愛媛県技師会より
記念式典の案内 令和 4 年 4 月 24 日（日）
PM1 時～2 時 15 分 ・記念講演 2 時 15 分～3 時 （ANA クラウンプラザホテル松山）
⇒ Web にて参加予定
- 第 41 回広島県臨床検査精度管理向上研修会について
令和 4 年 2 月 27 日 Web 開催、305 名の参加
- タスクシフト・シェア厚生労働大臣指定講習会
令和 4 年 4 月 10 日（日） 広島市看護専門学校 3 月 10 日から募集開始予定
- 輸血・細胞治療学会-日臨技支部連携について
輸血・細胞治療学会から日臨技支部研修会や都道府県研修会（各支部 1 件/年）に共催して講師派遣等の協力をしたいとの申し出があり。
今すぐ始めるということでは無く、執行理事会等で検討する予定（担当：長沢副会長）
- 2023 年度 中四国支部学会（愛媛）の報告 企画状況
令和 5 年 9 月 15 日（金）～9 月 17 日（日）
愛媛県民文化会館（ひめぎんホール）、ANA クラウンプラザホテル松山
- 第 71 回日本医学検査学会一般演題座長推薦について
令和 4 年 5 月 21～22 日 大阪 ACT ホール・ハイアットリージェンシー大阪
ハイブリッド形式での開催、座長については協議のもと 3 月 16 日までに推薦予定

【事務局（坂田）】

- 広島県医療従事者研修助成金について
県学会で申請しており、本日書類完成。
- 県会員について

継続案内を発送する。

- 当会参与について

谷口先生、板羽先生の委嘱期間が3月末まで。

【学術部（樫山）】

- 学術誌編集委員会より

本年度の編集委員会反省会議開催予定（3/9 18時～ Web 会議）

本年県学会一般演題発表者への論文化依頼を行う。

- 学術部門より

2月27日 令和3年度 第24回 検査部長・技師長連絡会議

2月27日 令和3年度 第41回 広島県臨床検査精度管理向上研修会

3月19日 2021年度広島県臨床検査データ標準化事業研修会

- 部門員応募状況報告

3月1日現在13名。引き続き募集を継続する。

- データ標準化委員会より

3月19日研修会 技師会事務所使用（米田副会長・樫山対応）

1. 2021年度広島県臨床検査データ標準化事業アンケート集計報告（淵上浩美 技師 県立広島病院）

2. 内部精度管理の基礎から応用（篠原克幸 先生 日水製薬株式会社）

- 精度管理委員会より

第41回広島県臨床検査精度管理向上研修会 2月27日開催済み

【経理部（藤井）】

- 収入

日臨技から「日臨技生涯教育推進研修会」 150,000 円

- 支出

ニシキプリント（広島臨床検査 2021. Vol10）発送費含む 991,221 円

- 決算について

3月11日までに決算書類の提出を会計担当者にメールした。3月11日に経理部で内容を確認し、順次、公認会計士に決算書類を提出する。H I V日曜相談・検査は給与支払いがあるため、3月21日以降となる。

- 会計士との面談

4月10日（日） 10時から

【渉外法規部（小川）】

- HIV 日曜検査事業について

2月20日 受験者数 5名

- 無料職業紹介

2月新規掲載数 2件

- 会員表彰について

開催日時 3月15日（火） 19時より Web 開催予定

【組織調査部（小松（浩））】

なし

【広報部（中島）】

- 70 周年記念誌について
ニシキプリントへ初稿を送る予定。

<地区報告>

【広島地区（栗村）】

- 事業報告・活動報告
なし

【呉地区（柴田）】

- 事業報告

開催日	事業名	参加人数 (レポート提出者)
2022/02/09	2021 年度第 2 回呉地区細胞診研修会 (Web 開催)	22 名
2022/02/10	2021 年度第 4 回呉地区血液研修会 (Web 開催)	40 名

【東部地区（宮地）】

- 事業報告

開催日	事業名	参加人数 (レポート提出者)
2022/01/27	2021 年度 第 1 回 東部地区血液部門研修会 (Web 開催)	30 名
2022/02/20	第 39 回広島県医学検査学会 (Web 開催)	240 名
2022/02/24	みんなで考える症例検討会 スピンオフ研修会	66 名

- 活動報告

2021/10/22	第 39 回広島県医学検査学会 第 3 回実行委員会 (Web)
2021/11/24	第 39 回広島県医学検査学会 第 4 回実行委員会 (Web)
2021/12/17	第 3 回 R-CPC 実行委員会 (Web)
2021/12/21	第 2 回 東部地区役員会 (Web)
2022/01/26	第 39 回広島県医学検査学会 第 5 回実行委員会 (Web)

【東広島地区（小松（忠））】

- 事業報告・活動報告
なし

【北部地区（箕岡）】（箕岡理事欠席の為、森田会長より）

- 事業報告・活動報告
なし

【学術副部長（椋）】

- 生涯教育事業より

・今年度実績：2021 年度（令和 3 年度） ※参加登録者：224 名

	内 容	参加人数 (レポート提出者)
第 1 回	ラオス農村部における妊産褥婦の現状と昆虫食	105 名
第 2 回	COVID-19 感染症の診断と治療	130 名
第 3 回	遺伝性腫瘍について～乳癌診療を中心に～	108 名
第 4 回	アスリートのメディカルチェック～臨床検査から読み解く！～	92 名

- ・次年度予定

場所：技師会事務所 or 各施設

開催日時：18:30～19:30

第 1 回：7 月 14 日（木） 「こどもの発達障害について」担当：広島市民病院

第 2 回：9 月 8 日（木） 「COVID-19 について」 担当：日赤病院

第 3 回：11 月 24 日（木）「スキンケアについて」 担当：県病院 or 広島大学病院

第 4 回：1 月 12 日（木）「7 つの習慣 J」担当：尾道市民病院

＊3 月 11 日までに講師決定予定

【有谿副会長】

- データ公開について

2 月 20 日に開催された県学会の一般演題 Q&A、資料、R-CPC 解説を公開した。

- 中国四国学会について

Web デザインを決定した。

【米田副会長】

- 日本臨床検査技師連盟より

3 月 2 日に実行委員会があり、活動報告を行った。

7 月 25 日に参議院議員選挙があります。

<討議事項>

【森田会長】

- 当会参与について

谷口先生、板羽先生へ再度参与にお願いしたい。

⇒ 賛成多数により引き続き来年度もお願いする。

【学術部（樫山）】

- 部門員の応募資格についての問い合わせ

発表の機会・経験あれば形式は問わない旨の返答をする。

【経理部（藤井）】

- 令和 4 年度の予算（案）について

⇒ 賛成多数により承認。

【学術副部長（椋）】

- 次年度の生涯教育講座開催について
 - ・会費は徴収せずで良いか。
 - ⇒ 賛成多数により承認
 - ・ライブ配信時の参加数が少ないため、次年度は各回ライブ配信 1 回のみとし、録画配信は行わない形式としたい。
 - ⇒ ライブ配信の参加者が少ない原因を解析する必要があるのでは（森田会長）
 - 形式についてはアンケート調査をしてはどうか（有谿副会長）
 - ⇒ 生涯教育委員会に持ち帰り再検討する（椋理事）
 - ・年度初めの 4 回分まとめた参加申し込みを取りやめ、各回ごとの申し込み方式としたい。
 - ⇒ 賛成多数により承認

【有谿副会長】

- 広臨技メールマガジンの運用について

今後メールマガジンを廃止し、『広臨技通信（仮）』を立ち上げ運用する。案内は総会資料送付時に同封する。案内の記載文は改めて検討後、決定する。
- Nextcloud について

管理者の村上さんより、現在のものを移植予定である。新たに構築してそこに移植する形となり、完全に移植出来るかはサーバーが違いため保証出来かねる。

<第 39 回広島県医学検査学会>

- 学会参加者数

会員	240 名
賛助会員	30 名
学生	31 名
合計	301 名

- 決算報告

◆収入の部

項 目	金 額	備 考
広臨技助成金	668,500	広島県臨床検査技師会(県学会・学術全部門)
広告料	290,000	30,000 円× 7 社・ 20,000 円× 4 社
その他	6	預金利子
合計	958,506	

◆支出の部

項 目	金 額	備 考
会場費	357,669	三原国際ホテル 2/19 リハーサル・ 2/20 学会当日
講師謝金	50,112	講師謝金 (5,568 円× 9 人：源泉税込)

設備費	4,000	スクリーン・LAN ケーブル使用料
物品費	4,920	HUB 代
印刷費	267,960	抄録集：2,030 冊（1 冊 120 円）
運搬費	100,081	抄録集発送：1,876 件（98,021 円） PC 送料
会議費	24,954	学会当日：昼食代・飲み物など
運営費	146,830	実行委員活動費 19 日：2,000 円×4 人 20 日：2,000 円×14 人 R-CPC：2,000 円×2 人 実行委員宿泊費 6,000 円×2 人 交通費・駐車場代 94,830 円
その他	1,980	振込手数料
合計	958,506	

- レポートについて

第 39 回県学会レポートを Nextcloud へアップした。

以下、一部抜粋

- ・「一般演題」、「みんなで考える症例検討会」については、勉強になった、参考になった。
- ・「タスクシフト」「新しい精度保証」「日臨技生涯教育」については聞けて良かった。
- ・「タスクシフト」については、初めて知った。
- ・Web で参加しやすかった。
- ・録画だったので、顔がみられない。ディスカッションがないのは寂しい。
- ・オンデマンドにしてほしい

等

- RCPC 担当者に匿名にてレポートを閲覧していただいても良いか？（宮地理事）

⇒ 了承（森田会長）

第 39 回 広島県医学検査学会レポート

令和 4 年 2 月 20 日（日）に第 39 回広島県医学検査学会『Go to next stage ～これからの臨床検査技師～』のテーマの下、昨年に引き続き WEB 配信形式で開催されました。

一般演題は 13 題と多くの施設に演題を申し込んで頂き、5 部門からの発表となりました。また、毎年好評の R-CPC「みんなで考える症例検討会」では 2 題の症例提示で解説を各部門長にして頂きました。どちらも新型コロナウイルス（COVID-19）の急速な感染拡大のため、急遽録画配信となり、活発な質疑応答や意見交換は出来ませんでしたが、学会開催中いつでも Q & A に質問事項を入力してもらい、回答は後日技師会 WEB サイトに掲載される形式となりました。



今回の県学会の参加人数は会員 240 人、学生さん 31 人、企業参加は 30 人と多くの方に参加いただきました。当日のほとんどを録画配信とし、一部 LIVE 配信となる初の試みでしたが、事前の打ち合わせなどが功を奏し、当日はスムーズな進行であったように思います。一般演題の演者の方も期日までの急な録画となりましたが、逆に当日は落ち着いて学会に参加でき、他の方の発表もゆっくり拝聴できたのではないかと思います。最優秀演題は 7 施設の技師長に審査いただき、その合計点から日本鋼管福山病院の村上祐人技師が選ばれました。サーベイの経験から臨床診断へ結びついた症例発表であり、普段経験しないような特殊な症例への経験を得られる「サーベイの意味」が感じ取れる発表でした。R-CPC では 2 症例のどちらもタンパク尿の出現のある症例で、データから考えられる臨床診断への経

路を 2 回とも確認できてとても勉強になりました。各症例の司会も、解説してくださった部門長もお話が上手でとても分かりやすく、楽しく拝聴しました。休憩中の配信は三原の観光地や「神明さん」で有名な「ダルマ」の登場があり、心和む時間となりました。

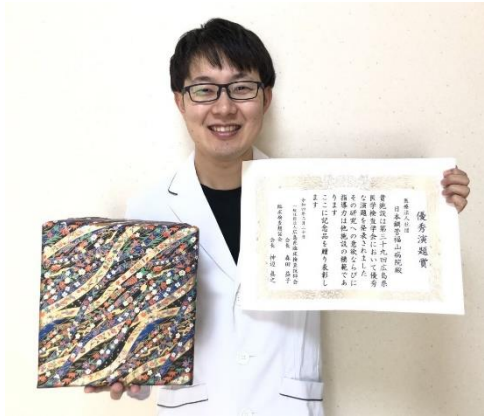
今回の学会で、今後も新型コロナウイルスやまた別の感染症の脅威を受けながらも検査技師として次のステージへステップアップするために技術の研鑽だけでなく、柔軟な適応力を身につけることも必要だと感じました。

今年の中四国学会は広島開催となります。その時には会場で皆さんとお会いして交流も深めたいですね！

（広報部 青山）



この度は第 39 回広島県医学検査学会「サーベイランスでの経験により菌種を同定できた *Staphylococcus pseudintermedius* 感染症の 1 例」において優秀演題賞を受賞させていただき大変光栄に思っております。当日は優秀演題に選ばれるとは全く思っておらず、全プログラム視聴後にログアウトしていたため表彰されたことを知りませんでした。上司から知らせを聞き驚きと共に「ちゃんと視聴していましたよ...」と、複雑な心境ではありましたが、先日表彰状と記念品を受け取って受賞したことを実感し喜びを噛みしめています。



いままで私はサーベイランスを“テストを受けるような感覚”で参加していましたが、上司の方針・アドバイスに従うことでなんとか参加する価値があったのだと思います。今回、サーベイランスで学んだ内容を活かして対応できた症例を経験して、その有用性を実感しました。また自分自身のサーベイランスに取り組む姿勢を見直すきっかけとなっています。

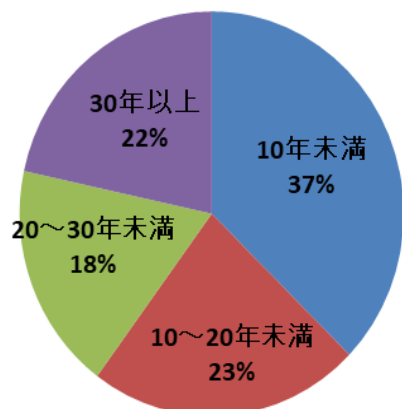
本症例での背景として 2019 年度日臨技臨床検査精度管理調査での設問で、*Staphylococcus pseudintermedius* は当院使用の同定機器では菌種同定データベースに登録されていないため同定できないこと、疑う臨床情報（犬由来）と同定するための追加検査などを経験しました。そのため犬由来の可能性のある *Staphylococcus intermedius* の時に *S.pseudintermedius* を疑い必要な追加検査を実施することができました。本症例では術後感染を疑っていたため、このサーベイランスでの経験がなければ *Staphylococcus* sp. もしくは *S.intermedius* と報告を続けて、患者への飼い犬との接触後に流水水洗などの指導も実施できていなかったと思っています。

今回の発表は当初リアルタイムでの WEB 配信となっていたのですが、新型コロナウイルスの流行状況により急遽録画配信となってしまいました。緊張からは解放されましたが音声の吹込みを噛まずに行うことに時間がかかってしまい、締切との闘いに焦ってしまいました。またご時世ということもあり仕方ないことではありましたが、優秀演題に選ばれた発表が現地での発表でなかったことに少しばかり悔しさも感じています。新型コロナウイルスが終息し各学会が現地開催となってから、もう一度優秀演題として選ばれるように今後も励んでいきたいと思っています。

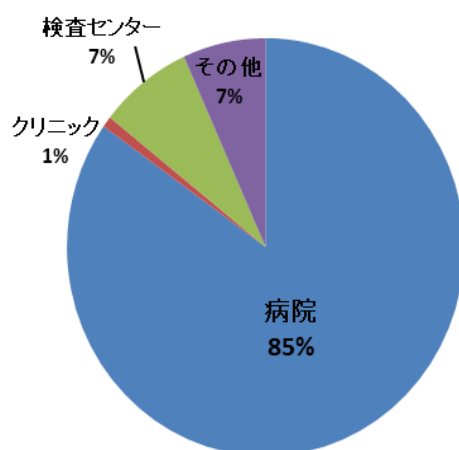
最後に、審査していただいた先生方、学会実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

医療社団法人 日本鋼管福山病院 臨床検査科 村上祐人

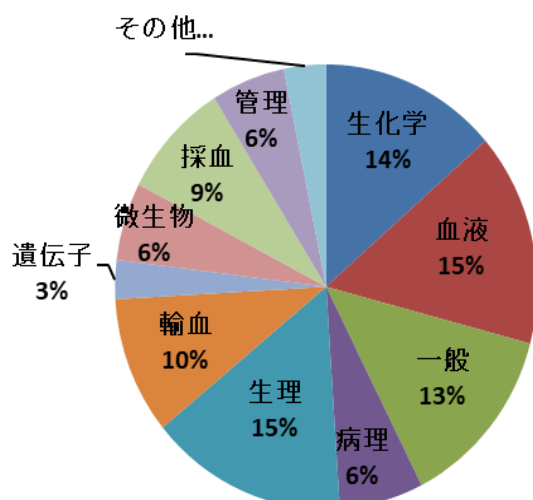
検査技師の経験年数



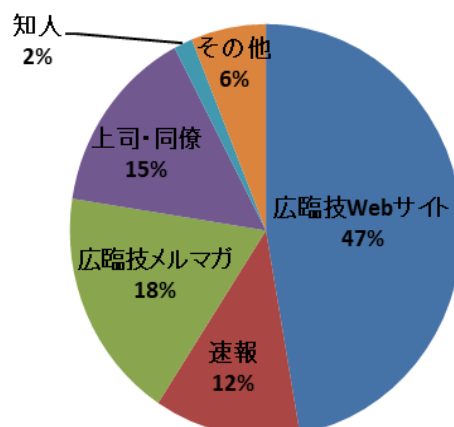
勤務先の種類



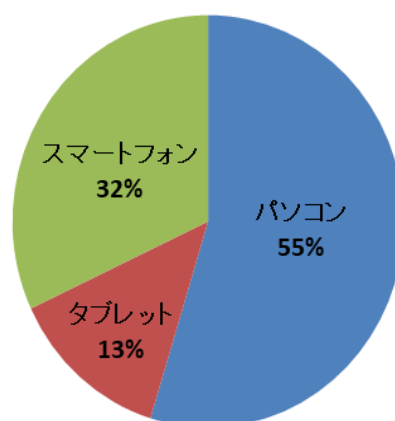
ルーチン業務(複数回答)



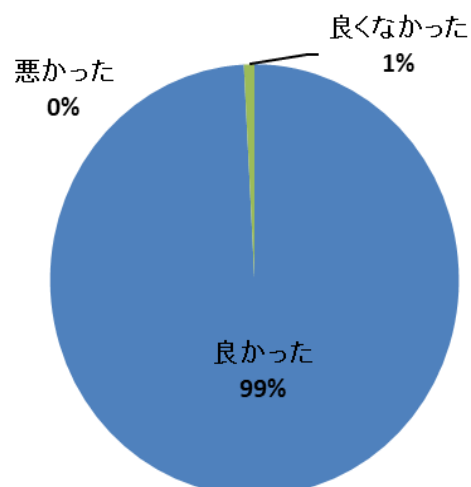
本学会の情報



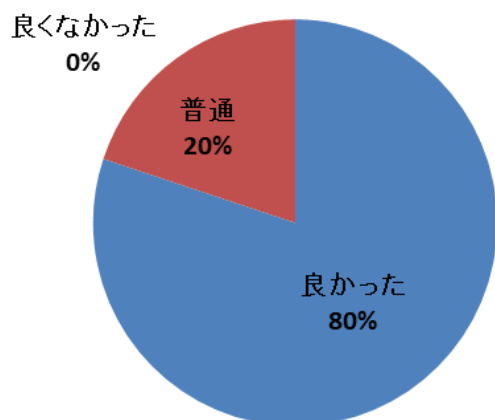
本学会視聴方法



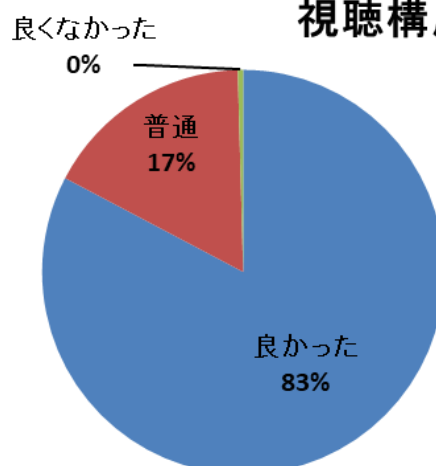
WEB開催について



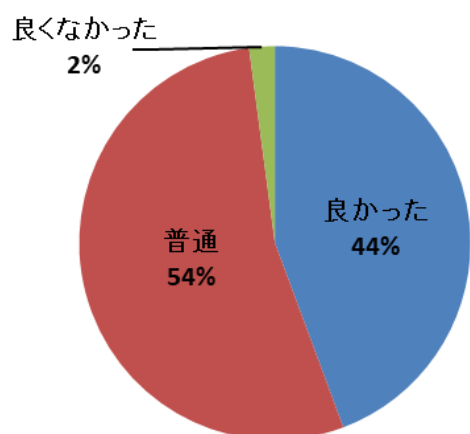
【一般演題】視聴構成



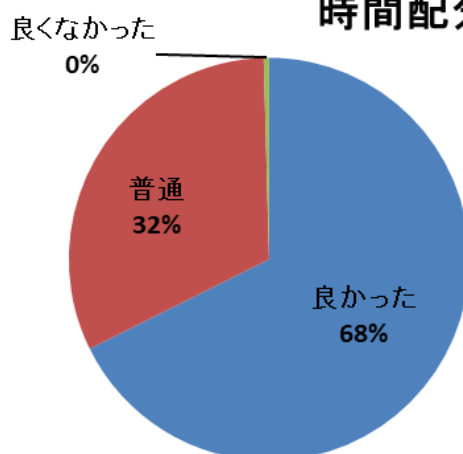
【みんなで考える症例検討会】 視聴構成



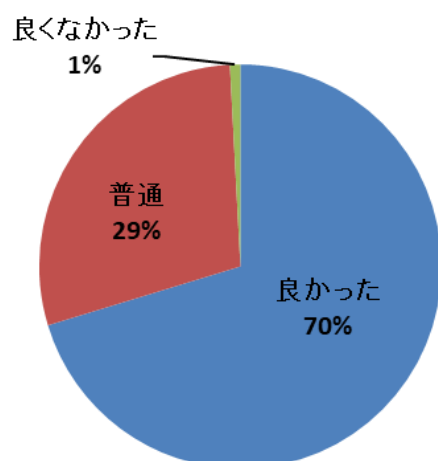
【一般演題】質問のしやすさ



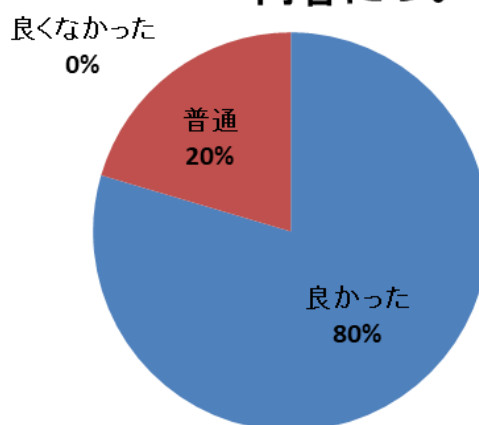
【みんなで考える症例検討会】 時間配分



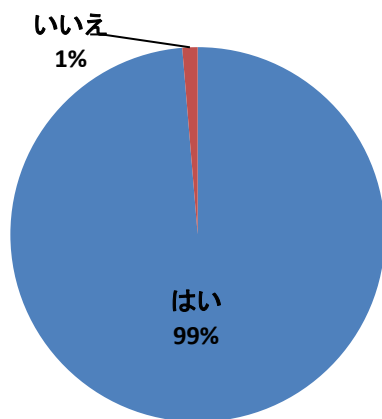
【一般演題】時間配分について



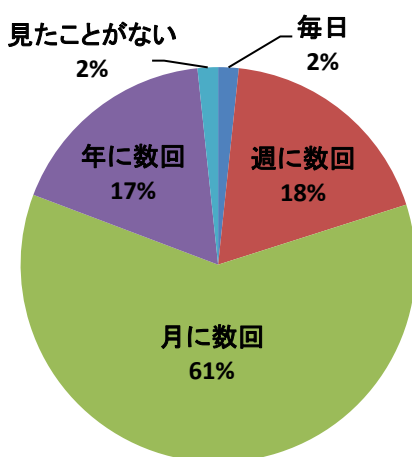
【みんなで考える症例検討会】 内容について



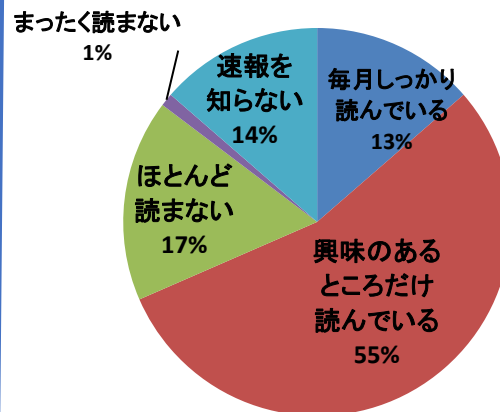
【みんなで考える症例検討会】 今後も続けていってほしいか



【今後の運用に関して】 広臨技WEBサイト利用頻度



【今後の運用に関して】 速報について



アンケートへのご協力
ありがとうございました

【その他のご意見・感想】

頂いたご意見を一部ご紹介します。

- 厚生労働大臣指定講習会があることを初めて知ったので、今後機会があれば是非参加したいと思います
- 症例検討会はとても勉強になりました。ネフローゼだと分かった後、原疾患の検査が重要だと分かったので明日から活かしたいと思います。
- 一般演題は、普段自分が担当していない分野のものもあるので、とても勉強になりました。また、症例検討は、検査技師目線でとてもわかりやすく臨床に沿った話の展開・内容になっていたのも、とても面白かったです。ぜひ続けて欲しいです。
- 演者によっては録音に違いがあったり、画面と発表が少しずれていたり、雑音が気になるものもあった。
- 症例検討会は分野を交えての検討なので色々な目線で考えることができ、勉強になった。学会以外でも勉強会に参加したい。
- 学会に賛助会員が参加できるようご配慮下さいましてありがとうございました。
- WEB開催は自宅で参加できたので時間的に有意義だった。演題発表や質疑応答についてはタイムリーに解決せず少し残念だった。
- 録画配信であれば数日間配信して欲しい。

- ・ ディスカッションがなく寂しかった。
- ・ タスクシフトの研修についての講演があり、自分も受けようと前向きに思えた。
- ・ タスクシフトがもう目の前に迫ってきているということを改めて実感した。そのために知識の習得等に励みたい。

広島県医学検査学会 一般演題質問回答

県学会一般演題での質問に対する回答を各演者から頂いておりますので紹介します。
なお、質問・回答は原文を使用しています。

● 回答者：山本 華 尾道総合病院

Q. ルーチンで乳糜検体による乖離を認めた場合の運用を教えてくださいませんか？

A. ご質問ありがとうございます。ルーチン時は HGB フラグが立った時に違う号機で再検し、フラグが再度立つようであれば遠心して血漿の確認をしています。
そこで乳びがあった場合には血漿を生食で置換して測定し、比色法の HGB 値で結果を送信しています。
レーザー法の cHGB の運用については今後検討予定です。

● 回答者：金重 仁美 広島市立広島市民病院

Q1. dh とフィブリノゲン抗原量の相関は、自施設で検討する必要があるか。その場合、試薬ロット毎に検討する必要があるか

A1. 機械の測定波長や原理、試薬の組成によって相関が変わることが考えられるため、自施設で検討するのが望ましいと思います。また、試薬ロット毎の検討は、あくまで Fbg 抗原量を推定することを目的としているので必要ないかと思います。

Q2. 貴重な症例をありがとうございました。聞き逃したかもしれませんが 3 点教えてください。

- ・ 用手法でフィブリン塊に異常はありましたか
 - ・ 遺伝子検査はされていないとの事でしたが、この患者さんは先天性、後天性どちらでしょうか
 - ・ 手術が必要となった場合、対処としては FFP でしょうか
- A2. ・ 用手法での検査について、今回はルーチン検査後の残血漿で Fbg 抗原量を測定することを優先したため実施することが出来ませんでした。恐らくご指摘のようにフィブリン塊に異常が見られたと思います。
- ・ 主治医からの情報では後天性を疑うような被疑薬はなく、先天性の可能性が高いが断定はできないとの事でした。
 - ・ Fbg 異常症は約半数は無症候性、25%は出血傾向、15%は血栓傾向と言われています。本症例は無症候性で、Fbg 活性値 50mg/dL 以上であることから止血レベルはある程度保たれていると判断され、手術が必要となった場合は FFP で対応することとなりました。



回答者：住吉 彩 広島市立舟入市民病院

Q1. DTT 処理の方法を教えてください

A1. 0.01mol/L DTT と被検血漿を等量混合し、37℃にて 30 分インキュベーション後、2000G にて 10 分間の遠心後測定を行いました。

Q2. 貴重な報告をありがとうございます。

この症例が DD 非特異反応だとうやうや気がついたのか知りたいです。

画像で、皮下出血に気がついた先生から、DD と FDP のオーダーが出たのでしょうか。

それとも検査技師のほうへ非特異反応の可能性の相談があったのでしょうか。

ご教示いただけますと幸いです。

どうぞ宜しくお願いします。

Q3. 貴重な症例報告ありがとうございます。発表の中にもあったように、臨床経過を追っていないと偽高値に気が付くのが難しく、疾患によるものと考えてしまうと思いました。今回の症例は、検査室の方で経過を追っていて気付いたものでしょうか。臨床からの問い合わせを受けて調査したものでしょうか。よろしく願いいたします。

A2.3. 皮下出血に気がついた先生から DD と FDP のオーダーがあり逆転を認めたことから気がつきました。検査室から先生へ非特異反応の可能性のあることを連絡し、詳細な原因を調査しました。



回答者：鍵原 碧 広島市立広島市民病院

Q. 1.MAP 採血管にて採血した検体量にて、再検査が必要になった場合は残血で血液型も不規則抗体も検査することが可能ですか？また再検査はどのようにされていますか？

2.コンピュータークロスの条件から外れた場合の交差試験用の検体もこの採血管で採血されていますか？

3.MAP 採血管を使用する基準（年齢や体重）を設けておられますか？

4.通常の採血管を使用する場合と MAP 採血管を使用する場合で、電子カルテによる検査オーダーは分けら

れていますか？ 以上です。よろしくお願いします。

A. 1.再検査になること自体が少ないですが、残血で検査可能であり、カラム凝集法を用手法で行うか試験管法で実施しています。もしも、MAP 採血管に十分な残血が無い場合は、生化学検査や CBC の残血を用いて行っています。

2.そのような場合でも、MAP 採血管で採血しています。

3.特に基準は設けていません。

4.同一オーダーであり、採血管における特別な検査オーダー分けはしていません。



回答者：村上 祐人 日本鋼管福山病院

Q. 何回か培養を行っていますが、S.intermedius と同定される前は Staphylococcus.sp となっていました。が、どのような同定結果だったのでしょうか。

A. 質問ありがとうございます。

術後 1 年目 6 月の結果はコメントにて”S.intermedius の判定”としていましたが、X 年 8 月と術後 1 年目 5 月の結果はかなり前の結果でありコメントも残していなかったため元々の同定キット判定結果はわかりませんでした。

環境からの感染と推測し S.aureus S.epidermidis 以外のブドウ球菌であり医師の混乱を避けるために Staphylococcus sp.として報告したと考えています。

 回答者：三浦 香苗 中国中央病院

- Q. 該当患者は過去にも抗酸菌検査を行っていたようですが、今回来院時、胸部 X 線などの結果から抗酸菌検査の依頼も同時に依頼はなかったのでしょうか？
- A. ご質問ありがとうございます。時間外救急の来院時に非結核性抗酸菌症の疑いで CT の撮影を行っており、肺炎像の増悪を認めていましたが、喀痰培養は一般細菌培養での肺炎原因の検索のみで、抗酸菌培養の依頼はありませんでした。

 回答者：高橋 規恵 三原赤十字病院

- Q. COVID-19 の陽性患者数と検査数がほぼ同時期に増加しているとのことですが、全国的に言われる第 1 波～第 5 波と一致していましたか？陽性件数はまとめられていましたが抗原検査と PCR はそれぞれ何件ずつでしたか？
- A. ご質問ありがとうございます。増加している時期は、三原市も全国も全国的に言われている第 1 波～第 5 波と一致していました。陽性件数は抗原検査が 2 件、PCR が 4 3 件となりました。

 回答者：前田 志穂 尾道総合病院

- Q1. 当院においても最近、技師による手術材料の切り出しを始めたため、大変参考になりました。質問ですが、技師 2 名での作業とのことですが、1 名での実施は困難ですか？また手術材用での切り出し所要時間について、可能な範囲で教えてください。
- A1. 病理検体取扱いマニュアル（一般社団法人 日本病理学会）では病理医 1 名、技師 1 名の計 2 名で切り出しを行うことが推奨されています。また、技師 1 名での切り出しは可能ではあるが、その場合ブロックの取違いなどをチェックすることが出来ません。従って 2 名で行うべきと我々は考えます。胃、大腸における切り出し時間は 1 件あたり、約 30 分です。しかし、臓器や病変により所要時間は大きく異なります（例えば臍頭十二指腸切除術では約 90 分）。当院では 1 日当たり人を変えながら約 6 時間切り出しを行い、前日の手術材料を全て処理しています。
- Q2. 病理技師が切り出しを行うことで、経験値の違いで追加切り出しの割合が変化すると思っていたのですが、若手からベテラン技師まで同程度の割合に抑えられており、かなり質の高いマニュアル作成と教育が行えているのだと感銘を受けました。
- 切り出しにおいては、割を入れる方向によって診断が変わってくると思うのですが、主治医や病理医が求めている方向に切り出せるように工夫されていることはありますか？
- A2. 基本的にはマニュアルに沿って割を入れています。切り出す方向が分からない場合は病理医に尋ねて、切り出しています。また主治医や病理医からの要望がある場合は、その方向に切り出しています。病理医や主治医とのコミュニケーションが大切だと思います。

Q3. また、切り出し以外のタスクシフトとして病理組織診断の所見の下書きなどにも取り組んでいらっしゃるのでしょうか？

A3. 切り出し以外にはタスクシフトには取り組んでいません。



回答者：西村 勝夢 呉共済病院

Q1. 術中や術直後は評価されないのでしょうか？術前のあとのデータが術後 1 か月での評価が通常の流れでしょうか？

A1. 当院は TAVI を行う施設ではないため、術中や術直後に関してはコメントできるような経験がありません。

Q2. TAVI 後の測定に関してです。弁周囲径に対する PVL の割合を測定するのは一般的なのでしょうか。PVL の径を測定するのは、カラードプラモードでしょうか。コツなども合わせご教示下さい。

A2. 当院では TAVI に従事されている循環器医師指導のもと、2020 年弁膜症治療のガイドライン(JCS)を参考にいくつかある重症度指標を可能な限り計測しています。

その中でも短軸での評価は逆流部位を特定するのに有用と考えており、vena contracta の位置で短軸像が切れているか、カラードプラがオーバーゲインになっていないか等に注意し、過大評価にならないように気を付けて評価をしています。



広報部連絡・専用 E-Mail < koho@hiroringi.or.jp >

次号速報の原稿〆切は 4 月 15 日です

